

よくあるお問合せ

【申請団体の資格】

- ① Q：団体の所在地が東京都外だが、東京都をメインとして活動している。申請は可能か。
A：申請いただけません。団体所在地が東京都内であることが必要です。
- ② Q：個人での申請は可能か。
A：申請いただけません。構成員が3名以上の任意団体または法人に限ります。
- ③ Q：構成員が代表1名しかいない。事業に携わる人を構成員として入れて良いか。
A：申請は構成員が3名以上の団体に限ります。事業に携わる方が申請団体に属していない場合は構成員にはなりません。ただし団体が法人である場合、構成員数は問いません。
- ④ Q：5年以上個人で活動しており、最近任意団体として活動している。申請可能か。
A：個人活動期間を含めることはできません。任意団体として5年以上の活動実績があれば可能です。
- ⑤ Q：任意団体は申請可能か。
A：5年以上の活動実績があれば申請可能です。
- ⑥ Q：法人格を持っている団体は申請可能か。
A：申請可能です。
- ⑦ Q：任意団体から法人化した団体は申請可能か。
A：申請可能です。沿革にその旨記載ください。
- ⑧ Q：5年以上任意団体で活動しており、最近法人化したか、まだ法人としての活動が1年未満である。その場合でも申請は可能か。
A：申請可能です。沿革にその旨記載ください。
また直近の活動実績は任意団体のものを含めご記載ください。
- ⑨ Q：任意団体のため定款がない。どうすれば良いか。
A：定款に準ずる規約、会則等を提出してください。
- ⑩ Q：団体設立5年以上の定義は何か。
A：2021年4月以前から継続的な活動実績がある団体です。任意団体でもかまいません。

【申請できる件数等】

- ⑫ Q：同一団体の複数申請は可能か。
A：可能です。ただし、同一申請団体で複数の企画が採択されることはありません。
- ⑬ Q：アーツカウンシル東京の他の助成に応募しているが、同じ事業で申請できるか。
A：同一申請者が、同一の事業を、アーツカウンシル東京が実施する他の助成プログラムと並行して申請することは可能です。ただし、重複して採択されることはありません（「東京芸術文化鑑賞サポート助成を除く）。異なる事業であれば、重複して採択される可能性があります。

【申請内容について】

-
- ⑩ Q：実施日も会場も決まっていないが申請は可能か。
A：申請可能です。ただし、審査基準として申請する企画の実現性が担保されているかも含まれますのでご注意ください。
-
- ⑪ Q：申請書の記載方法がわからない。
A：申請書様式の印刷範囲外にある説明とあわせて、記入例シートをご参照ください。
-
- ⑫ Q：1つのライブを複数の会場で実施したい。その場合でも申請は可能か。
A：助成対象期間内であれば申請可能です。ただし、助成金の支払いは全ての事業が終了し、実績報告書の提出後となります。
-
- ⑬ Q：事業期間はどのように記載すれば良いか。
A：事業開始日（公演初日）から、事業終了日（公演最終日）をご記載ください。
-
- ⑭ Q：事業期間外（公演前）の経費は認められるのか。
A：助成対象期間内に支払われる経費であれば認められる可能性があります。
-
- ⑮ Q：申請活動に関する資料は具体的に何を提出すれば良いか。
A：提出は任意です。申請書に記載できなかった申請事業についての概要や、団体としての補足事項などあればご提出ください。
-
- ⑯ Q：誤った内容の申請書を提出してしまったので再提出したい。
A：再提出は受け付けておりません。採択後に変更申請を行うことで変更が可能です。またコンセプトの変更や大幅な予算の変更は再審査になる場合もありますので、ご注意ください。
-
- ⑰ Q：ディナーショーなど、飲食が伴う事業でも申請は可能か。
A：申請可能です。ただし、飲食に係る経費は計上不可になります。そのためチケット代等に飲食分が含まれている場合は、飲食代を差し引いた額をご記載ください。
-
- ⑱ Q：コロナ禍で中止になった公演について、活動実績に記載することは可能か。
A：可能です。活動実績、財務状況に記載してください。
-
- ⑲ Q：カテゴリⅡで申請を予定している。カテゴリⅠも申請したい場合、別途申請が必要か。
A：1つの申請でカテゴリⅡとカテゴリⅠを併願することが可能です。希望する場合は、申請書の申請区分で「カテゴリⅡ」を選択の上、次の欄で「併願申請を希望する」を選択してください。
-